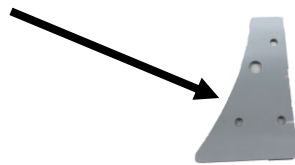


### ランチングホイール取扱説明書

この度は、ジョイクラフトランチングホイールをお買い上げ頂きありがとうございます。  
この取扱説明書は、LWS-8、LWS-6、LW-6に対応しております。  
(LWS-8はスライド式シャフトと8インチタイヤ、LWS-6はスライド式シャフトと6インチタイヤ、  
LW-6はストレート式シャフトと6インチタイヤの組み合わせになります。)

※ワンダーマグに取り付ける場合、段差を解消する為のスペーサーが別途必要になります。  
※付属するタイヤはいずれもノーパンク式です。

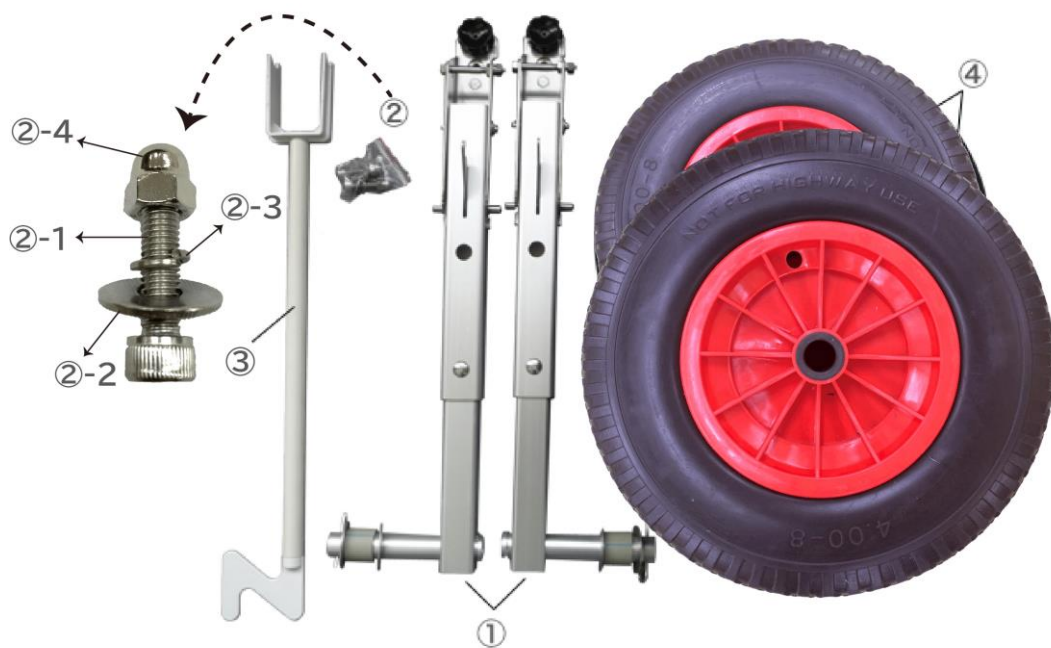
はじめに、梱包内容をご確認頂き作業を行ってください。



#### 梱包部品

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| ①本体(左用・右用)        | 各1本 |
| ②-1六角穴付ボルト(長)49mm | 2本  |
| 六角穴付ボルト(短)44mm    | 2本  |
| ②-2ワッシャー          | 6本  |
| ②-3バネワッシャー        | 2本  |
| ②-4袋ナット           | 2個  |
| ②-5皿ネジ            | 8本  |
| ③スティック            | 1本  |
| ④タイヤ              | 2本  |

※使用するボルトの長さは、  
トランサム<sup>®</sup>の厚みによって異なります。  
18mm(最大馬力9.8馬力のモデル)→ボルト(短)  
24mm(JES, JEXシリーズ)→ボルト(長)



※写真は、LWS-8(スライド式シャフト、8インチタイヤ)になります。

#### 取り付けで使用する工具等



※8mm刃ドリル(トランサムに穴が空いていない場合)

## 本体各部名称

①フレーム

②シャフト(プレート取付部→A、タイヤ取付及び伸縮部→B) ⑤

③ストッパーピン

④ストッパーフック

⑤取り付けプレート

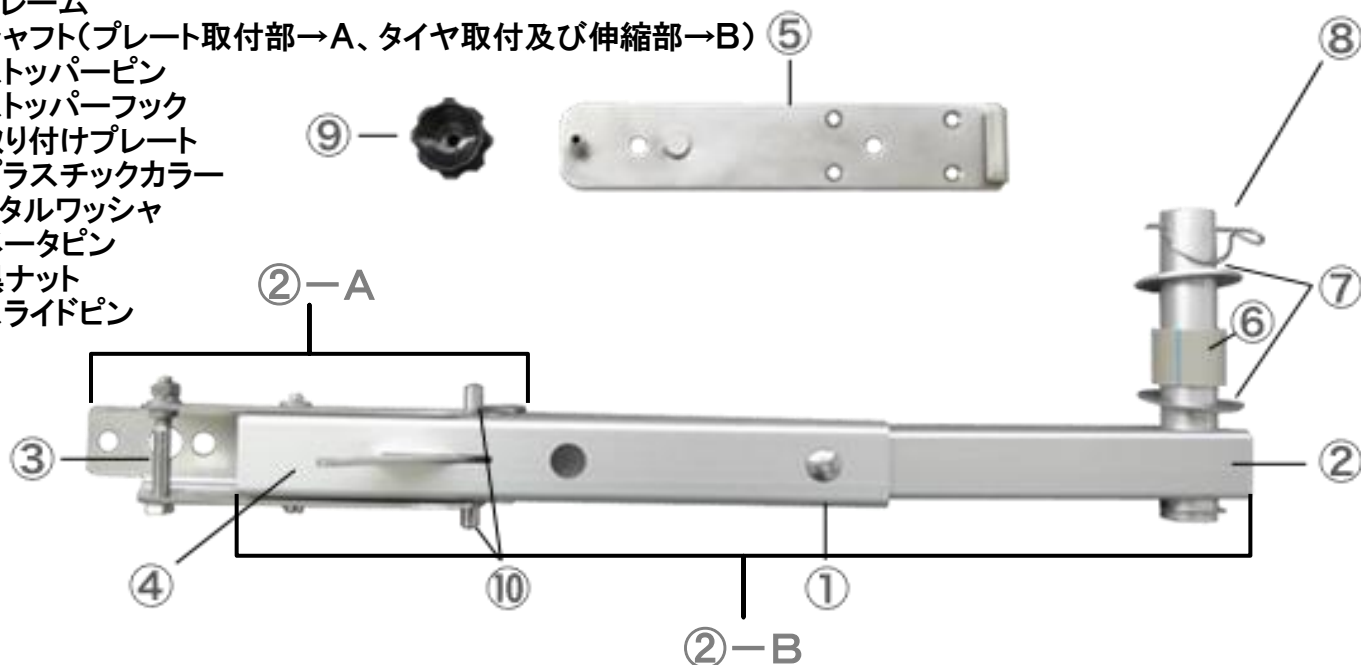
⑥プラスチックカラー

⑦メタルワッシャ

⑧ベータピン

⑨黒ナット

⑩スライドピン



## 取り付け方法

※JOYCRAFTのほとんどのポートには、ランチングホイールプレートの取付穴が開いています(保護カバー付き)

1 取り付けプレートをトランサムに固定する。



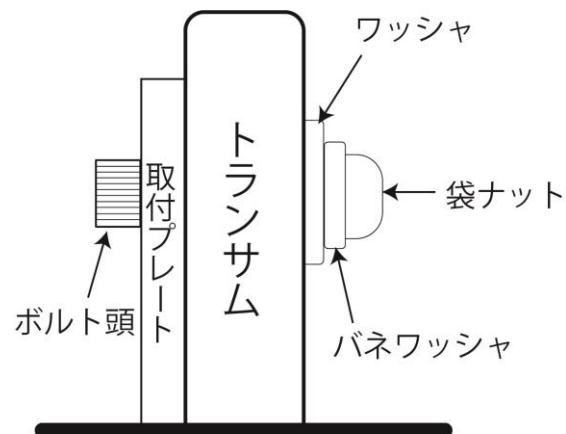
1-1

ランチングホイール本体から、トランサムに固定する取り付けプレートを取り外す。  
取り付けプレートは黒ナットを外すだけで離れます。



1-2

取り付けプレートを仮締する。  
トランサムにある両穴の保護カバー(白いゴム)を外し、穴に取り付けプレートと六角ボルトを取り付ける。  
トランサム内側から、ワッシャー、バネワッシャー、袋ナットの順に締める。  
(右下図参照)



※ワッシャーの枚数は、トランサムの厚みによって調整してください。

18mm→1枚

24mm→2枚

### 1-3

取り付けプレート下部、皿ネジの取り付け穴を開ける。  
皿ネジを取り付ける位置に細い霧で深さ5mm  
程度の穴を開ける。

※プレートが垂直に付くように穴位置を決めて下さい。  
傾きがあると、タイヤが回らなくなる可能性があります。  
(直角定規を使用すると、位置を決めやすいです。)



### 1-4

ボルトの穴と皿ネジの穴にコーキング剤を注入する。  
コーキング剤を塗ることで浸水とネジの緩みを防ぎます。  
※ボルトやネジにコーキング剤を塗ってから締めても  
問題ありません。



### 1-5

プレートを固定する

ドライバーで皿ネジを4本締め込む。

※締め込みが緩いと、使用中に負荷がかかった際にビスが外れて  
しまうことがあります。ネジ山が潰れない程度にしっかりと締め込んでください。

上部ボルトを固定する為、六角ネジ付の袋ナット(船内側)を本締めする。

※トランサム内側部分の袋ナットをペンチで固定してしっかりと  
締めして下さい。

※ボート本体及びエンジンの重量が大きくなる場合は、右図矢印部  
に8mmの穴を開けていただき、別途購入いただいたボルトをお取  
りつけください。

ボート本体を傷つけないよう、袋ナットのご使用を推奨します。



完成！



左図はプレート下部を皿ネジ4本で取り付けの場合。  
重量物を積載する場合はセンターのホールにもボルトを  
お取り付けください。

※すぐに使用されない場合、ボート本体の保護の為  
黒ナットを取り付けて保管してください。(右図○部参照)

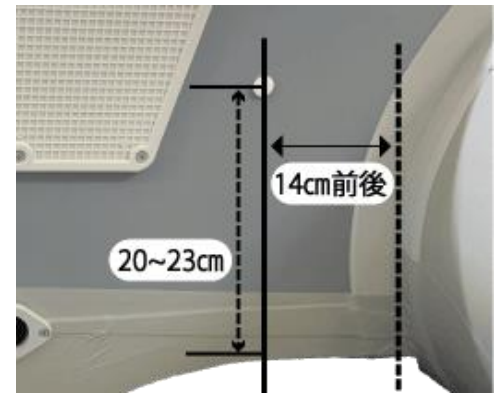


1※

トランサムにプレート取付用の穴がない場合

- ① 取り付けプレート上部、六角穴付ボルトの取付け穴を開ける。  
トランサム下部から取付プレートがはみ出さない程度に  
設定した位置にドリルで8mmの穴を開ける(約20cm~23cm)。

※トランサム内側がささくれないよう、ドリルの先端が  
微かに見える位置で止め、内側から貫通させる。  
又は、ドリルの細刃で中心を開けてから8mmで穴を  
広げる様に開ける。



- ② 取り付けプレートの横方向の位置は、チューブ取り付けの  
1番内側に飛び出ている部分から14cm前後を目安に  
穴を開けるように設定する。※

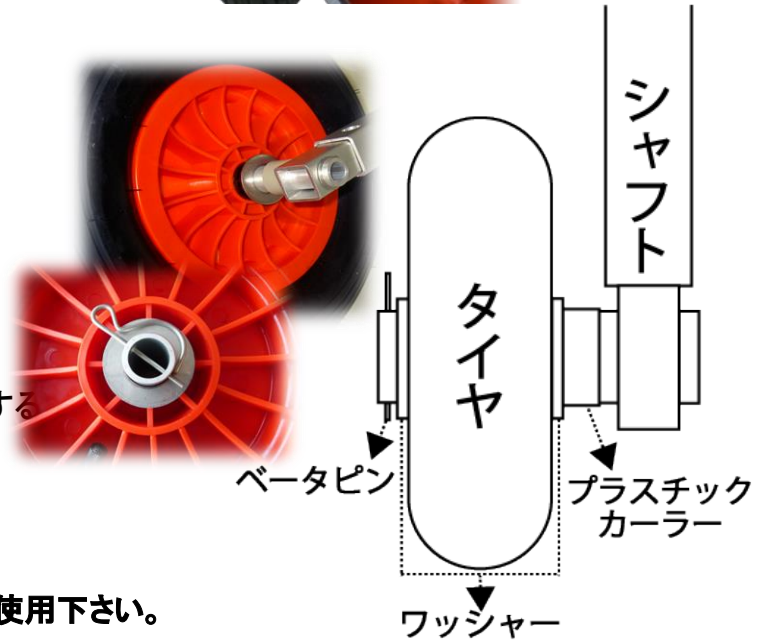


※トランサムの幅によって穴の位置は多少前後します。  
シャフトを跳ね上げたときにタイヤがチューブに干渉しない  
程度の場所に穴をあけて下さい。  
(右図○部参照)

2

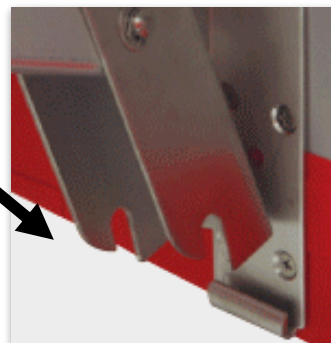
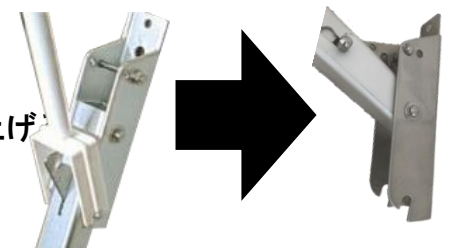
取り付けプレートに本体を取り付ける。

- 2-1 タイヤ取り付け部のベータピンを引き抜き、  
ワッシャーとプラスチックカラーを外す。  
2-2 プラスチックカラー → メタルワッシャー →  
タイヤ → メタルワッシャー の順に取り付ける。  
2-3 ベータピンを刺し、タイヤが外れないよう固定する。



※プラスチックカラーについて  
LWS-6をご使用の場合は 幅の狭いカラー を、  
LWS-8をご使用の場合は 幅の広いカラー をご使用下さい。  
LW-6には カラーは不要 です。

- 2-4 シャフトのスライドピン(⑩)を押し下げ(手でもOK)、シャフトを跳ね上げ  
2-5 取り付けプレートの黒ナットを外す。  
2-6 シャフト②-Aの背面を、プレート下部の受け部分に  
差し込んではめ込む(下図○部参照)。  
2-7 外した黒ナットを締め付けて固定する。  
※黒ナットは手締めで行う。工具は使用しないでください。



※ タイヤの跳ね上げ角度を調節することができます。  
ストッパーフック(④)を前方へ付け替える事で  
跳ね上げ角度を高く設定できます(右下図○部参照)

## ご使用方法

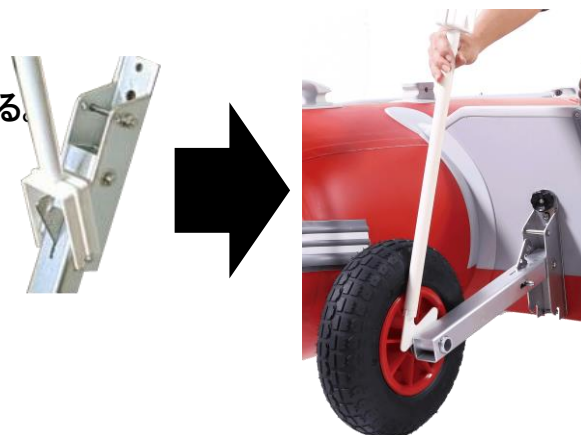
### [陸上時]

- 1 ポートをフラットな場所に置く
- 2 シャフトを伸ばす(スライド式の場合)。
- 3 ストッパーフック(④)を外し、タイヤを降ろす。
- 4 タイヤをセットする。  
少し弾みをつけてポートを持ち上げると、自動的にタイヤがセットされます。  
自動的にセットされない場合はシャフトを足で軽く押してあげると  
セットされます。  
(スライドピンが溝に入り、固定されたことを確認する。)



### [下架時]

- 1 入水したらスライドピンを下に押し下げる。  
スティックを使用してピンを押し下げる事も出来ます。  
\*ピンを押す場合、左右並行に、片側に片寄らない様にする。
- 2 タイヤが浮力で水面まで上がって来る。
- 3 スティックでタイヤを引き上げる。  
(自動的にストッパーが掛かります。)
- 4 シャフトを縮める(スライド式の場合)。



### [水上時]

- 1 航行中は、ランチングホイールを縮め、必ず跳ね上げた状態  
(エンジンのハンドル操作に支障のない高さ)でポートを  
走行させてください。  
※航行中の振動で、黒ナットが緩むことがあります。  
こまめに確認をお願いします。



### [上架時]

- 1 シャフトを伸ばす(スライド式の場合)。
- 2 ストッパーを手で外す。
- 3 スティックを使い、スライドピンが溝に入るまでタイヤを水の中へ  
押し下げる。



## ⚠️ ご使用上の注意

- ・ランチングホイールは基本的に引いてご使用ください。
- ・柔らかい砂浜の上では、タイヤ幅が狭くめり込んでしまう可能性がある為使用できません。
- ・陸上で使用の際には、ポートから降りてください。
- ・定期的に点検をして、異常があればご使用を中止してください。
- ・無理な力を加えないでください。プレートが曲がってしまう可能性があります。
- ・使用後は、汚れが溜まりやすいホイールやタイヤの隙間部分を中心に水洗いをし、よく乾かしてから保管して下さい。
- ・タイヤ内のベアリングには、グリス等を塗らないでください。